

30年度住民協総会・懇談会のお知らせ

日時：4月21日（土）13：30～16：30

場所：地域活動センター・久木会館

1年間の活動を報告すると共に、安心・安全のまちづくりの今後の活動について皆さまと話し合います。久小校区にお住いのどなたでも参加できます。

30年3月度役員会

3月3日（土）、13：30～15：40分久木

会館で21名（うち役員15名）が参加して開催されました。審議内容は次の通りです。

1. 地域活動センター・久木会館の指定管理者変更に伴う引継ぎの件

現在の指定管理者である久木連合町内会から説明がありました。具体的には小学校区全地域

で担当する体制づくりが重要なので、提案された「平成30年度久木活動センター運営担当名簿案」を基にして、事務局を中心として人選を進めることとなりました。

2. 総会関係

総会開催案内、総会次第、決議事項、当日の提出資料等について審議を行いました。今日の役員会で指摘された点を訂正し、3月19日に開

催の臨時役員会で決定の上、4月7日の役員会で各地域の自治会・町内会を通して会員に配布することとなりました。尚、会計報告については、4月初めの監査を経て決定されます。

役員会からのお知らせ

① 総合計画審議会委員に田倉代表を推薦
現委員の田倉代表が11月24日に任期満了となるため、新たに当住民協から推薦を依頼さ

れました。田倉代表が引き続いて就任することとなりました。

② 「まちのこそだち久木」が住民協の事業に
「まちのこそだち久木」は、地域密着型の「助け合いの未就園児一時預かり事業」として、何回かのプレオープンを経て、平成26年に久木会館開館と同時に、同館を拠点として

事業が始まり順調に発展してきました。現在の会員数は141名です。安定して事業を進めるために、当住民協の子ども部会の事業として進めたい旨、井上亮子代表（当住民協理事）から申し出があり、討議の結果了承されました。

③ 部会開催日時を、部会の任意に変更

これまで毎月役員会の終了後部会を開催していましたが、同時開催だと出たい部会に出られない弊害が出てきたこと、部会が定着して必ずしも役員会後に開催する必要性が無くなってきたことから、それぞれの部会が好ましい時に

開催することに変更しました。

当面は、減災部会と拠点部会は従来通り役員会終了後に、ふれあい部会は別途日時を設定すること、子ども部会はみんなの食堂の開催と関連付けて開催することとなりました。

④ みんなの食堂・第2回プレオープンの報告

2月26日開催で17時から配食開始ですぐ完売となりました。今回のメニューはチキンライス・具たくさんスープ・菜の花とわかめの和えもの・ゼリーとクッキーのデザート。今回から新たにたくさんの方がスタッフで加

わってくれました。

参加者総数；134名（子ども79名・大人36名・スタッフ19名）会費収入（参加費・寄付）；27900円、食材費支出；14243円、（残額は今後の運営費で活用します。）

部会報告

ふれあい部会 3月3日 報告者 龍村敦子

参加メンバー 田倉、勝山、山崎、小田、池田、木村、関、龍村、中部包括 大内

次の事項が話し合われました。

1. サービスの担い手募集チラシ試作品の意見交換。
2. 担い手はボランティアではなく、サポーターとよぶことにしたが、「ふれあいサポーター」の名前でよいか。
3. なぜ久木地区でコミュニティーサービスを作り、担い手を募集するかを、なるべく多くの住民に理解できるような主旨説明のチラシも必要であることに気づいた。
4. 各自治会町内会で積極的に説明することが

大切であると、確認しあった。

5. その上で、担い手募集のチラシも「気楽に」応募登録できるような内容の物をもう一度一人ひとりが作成してくることになった。

6. 中部包括支援センター大内さんから、2月現在の山の根の要支援認定を受けて利用しているサービス内容の内訳の説明があった。これが、今後のコミュニティサービス内容のヒントになると思われる。

7. 次回は3月29日（木）15:30久木会館で開催する。

8. ふれあい部会開催は今後、役員会の後ではなく、平日の昼間、部会員の都合で不定期であるが、月2回は開きたい。

子ども部会 3月3日 報告者 東浩司

平成30年度から「まちのこそだち久木」を住民協の事業となることを受けて、必要な情報の

減災部会 3月3日 報告者 鈴木為之

参加者5名（山下、森田、森戸、大塚、鈴木）。

30年度計画として具体的な提案はないが、地道に啓発を進めていくこと。近隣の普段の良い関係が、災害時には大切なことが理解され始めていること。自治会の中では小地域のまとまりの中核と位置づけられる班長の役割の大切な

共有と手続きの確認を行いました。運営方法は従来と変更なく、広報やサポーター募集等のアイデアを出し合いました。

ことに関して発言があり、10年に一度・1年という任期の中で積極的に役割を担っていただくのが、着実に地域に減災意識を広める基本となること。啓発の方法として有識者を招いての勉強会、避難所訓練を通しての地域の関わり・「互近助」の考えを広めること等が挙げられた。

連載【グループ紹介】 第3回 《久木子ども会連合会》

子ども会は、学校以外での様々な活動を通して子ども達の健やかな成長発達を促すために地域を基盤に組織された団体です。少子化等により子ども会の数は減少しており、逗子市内でも子ども会が無くなった地区があります。しかし、久木・山の根の子ども会は今も健在。活発に活動しています。

＜年間の主な行事（平成30年度計画）＞

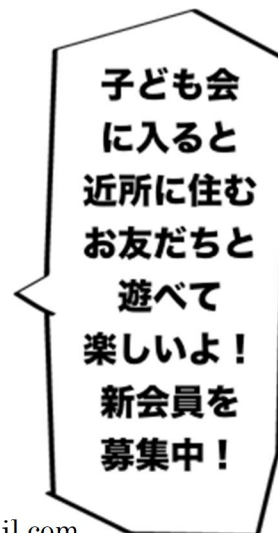
- ・5月 球技大会
- ・7月 久木神社祭礼（協力）
*熊野神社祭礼にも単子が出店しています。
- ・8月 湘南スポーツ杯ソフトボール大会
- ・10月 久木体育祭（協賛）
*山の根体育祭にも単子が協力しています。
- ・10月 星空を観る会（4年生対象）
- ・3月 ソフトボール6年生卒業試合
- ・3月 ナイトハイク（6年生対象）



ほか毎月2回、久木小・中学校グラウンドで「ソフトボールで遊ぼう」を開催しています。

地域ごとに「単子」と呼ばれる子ども会があります。それぞれの単子で独自の活動も行なっています。

住所	単子名
久木8丁目	ハイランド
久木3,6,7丁目	若草・さくら
久木1,2丁目,山の根1丁目1-3	すみれ
久木4丁目27、5,9丁目	さざなみ
久木4丁目,小坪方面	こだま
山の根3丁目5-20	ニコニコ
山の根1丁目4-7,2丁目,3丁目1-4	青空



子ども会
に入ると
近所に住む
お友だちと
遊べて
楽しいよ！
新会員を
募集中！

新年度に向けて、新たな会員を募集しています。

詳しくは久木子ども会連合会宛にご連絡先を。hisagikodomo@gmail.com

編集後記

3月20日に聖和学院で行われたプレゼンテーションコンテストのテーマは、「逗子市の防災・減災について考えよう」。自分たちで選んだ小テーマについて、3分という限られた時間の中で発表して、発表とレジメに分けて聴衆が投票して、順位を決めるコンテストです。

地域に関わり深いテーマで行われる学校の教育行事に住民が参加できるのは、相互理解の上で大変有意義なことというのが、参加した私の感想です。

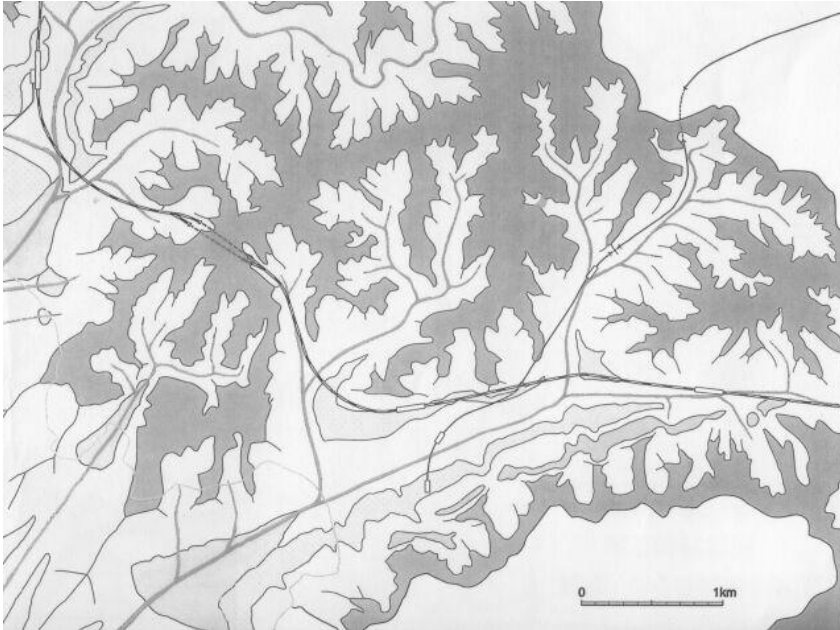
次号で発表内容について要約して触れてみたいと思います。

事務局 鈴木 為 之

温故知新 その十三 海進・海退Ⅱ

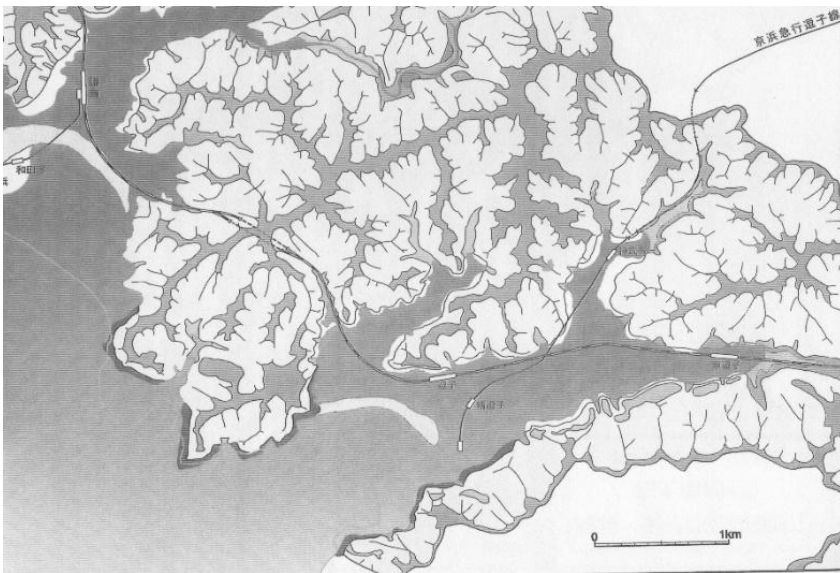
故（ふる）きを温（たず）
ねて新しきを知る

今回と次回は、鎌倉逗子地形発達史（上本進二）を元に、逗子の海岸線の変遷を見てみます。海岸線の変化は、氷河の増減以外に、地震による地殻の変動による上下があり、逗子周辺は大きな地震があるごとに隆起を繰り返しています。但し、ここに掲載される変化は、長い歴史の中に変化だから、地震などによる比較的細かい変化は示されていないと思います。



左の幾つかの地図は、時代を変えて逗子周辺を示した地形図です。（左上から右に中央部を走っている線が横須賀線、中央部下から右上に走っているのが京浜急行です）。

左上の地図は旧石器時代（数十万年～1万年前）、海面は今から120メートルも下がっていたから、この地図には勿論出てきません。下の地図と見比べると大凡の位置がわかるのではないかと思います。



右上から左下に今の田越川が流れていますが、おそらく深い谷を作っていたでしょう。

海峡は陸となり日本は大陸と陸続きになり大型獣が渡ってきました。

日本海は陸で囲まれていたので、雪は今のように多くは降りませんでした。

左下の地図は縄文時代前期（6000年前ごろ）で、最も海進が進んだ時代で縄文海進と呼ばれ

ています。

海面は今より4メートル高くなり、気温は1～2度高かったとされています。

東逗子駅、神武寺駅は海没しています。久木地域は柏原谷戸の入り口まで海没していました。

海岸には天橋立の様に砂丘が出張って、逗子湾は内海の形となっています。鎌倉も同じように材木座から由比ガ浜まで、帯状の砂丘が出来て材木座の端に海水の入り口がある内海を形作っていたようです。

鈴木 為之（山の根在住）